

お客様と、仲間と、共に輝く夢をつないでいきたい。

自分の道を自ら拓く。その礎を築いた4年間。

これからの学問として注目されていた「情報学」に興味があって、開設されて間もない文学部図書館情報学科(現：人間情報学部)に進学しました。私の代は2期生です。担任の教授から「情報の『情』は立心偏に『書』と書きます。人にとって青々しい、新しい情報学を、みなさんも追究していきましょう」と言われ、強く感銘を受けました。以来、情報検索やプログラミングなど、時代に先駆けた学びに力を注いでいきました。同時に、大学祭実行委員会の活動にも熱中。3年次には実行委員長を務めて、みんなで楽しめる淑楓祭をつくるために走り回りました。

当時、愛知淑徳大学はまだ女子大でしたが、「良妻賢母」ではなく、「女性も自立して社会で活躍すること」の価値を先生方が

語ってくださっていました。だからこそ、自分の可能性を広げていきたいという自由な考え方が芽生え、何事にも自ら行動を起こし、将来の進路も自身の意志で選択できたのだと感謝しています。

お客様の豊かな日々を未来へつなぐために。

卒業後は証券会社に就職し、お客様と直接関わる営業職としてキャリアを積み重ねました。入社して20年以上、今も自分の軸としているのは、「お客様と夢を共有したい」という思いです。次の世代、さらに次の世代へと、心豊かな暮らしをどうつないでいくのか。お客様との対話を大切にし、よりよいライフプランを共に考えるよう努めてきました。そうして全力で働くうちに、現在は、常務執行役員として、新たな事業本部のリーダーとして今までにないビジネスモデルを高め合います。

つくる仕事に携わっています。2016年には富裕層のお客様向けブランドを立ち上げました。金融サービスにとどまらず、レストランやイベントなどの暮らしを彩るサービスも創出。未来を共に築いていく拠点としてサロンも開設し、お客様の笑顔につながるアイデアをスタッフ全員で出し合い、カタチにしています。



大学祭実行員会では約30人の仲間と一丸となって淑楓祭をつくり上げました。1年生のときは渉外を担当(北川さんは前列右側)。



「夢を共有したい」という熱意を持ち、まっすぐに向き合う—この姿勢を大切にして、お客様の真のパートナーをめざしています。

東海東京証券株式会社 常務執行役員
ウェルスマネジメント本部長

北川 尚子さん(旧姓:押田)

愛知淑徳大学文学部図書館情報学科を1990年3月に卒業。東海東京証券株式会社に入社して約20年間、リテール営業に従事。営業課長、支店長、ウェルスマネジメント本部副本部長を歴任し、2016年より現職。同社の女性社員では初の執行役員となる。